

平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エービーシー・マート
 コード番号 2670 URL <http://www.abc-mart.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月8日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3476-5452
 平成27年11月16日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	120,433	11.5	23,873	1.7	24,295	2.1	14,664	3.7
27年2月期第2四半期	108,017	15.1	23,466	23.5	23,806	24.5	14,138	33.1

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 14,899百万円 (9.1%) 27年2月期第2四半期 13,661百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	191.50	177.72
27年2月期第2四半期	187.78	171.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	236,703	191,236	80.6	2,358.87
27年2月期	233,661	155,535	66.4	2,059.68

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 190,716百万円 27年2月期 155,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	40.00	—	60.00	100.00
28年2月期	—	60.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年 2月期の連結業績予想(平成27年 3月 1日～平成28年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,800	10.9	40,750	2.8	41,450	2.6	25,380	4.1	322.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、別途資料 5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	80,851,310 株	27年2月期	75,294,429 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	393 株	27年2月期	208 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	76,575,475 株	27年2月期2Q	75,294,265 株

(注) 新株予約権の行使により、期末発行済株式数が増加しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

決算データ資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)における事業環境は、円安株高を背景に、輸出企業をはじめ企業収益の改善がみられ、また海外からの訪日観光客が増加しており、景気は緩やかに回復してきております。国内消費においては、賃金の上昇が少しずつ見られるようになりましたが、原材料価格の高騰に伴う物価の上昇により、消費環境は一進一退の状況が続いております。

シューズ業界につきましては、スニーカートレンドの継続やインバウンド消費により、都市部の商業施設や地方の観光地を中心に集客が高まっており、その結果、商品の平均単価も上昇傾向にあります。

このような状況下、当社グループは、テレビCMやファッション雑誌などの販促活動によりファッションとしてのスニーカー需要を高める取り組みを行い、スポーツシューズの販売強化に努めました。上半期の出店につきましては、国内外合わせて45店舗の新規出店を行いました。この結果、当社グループの店舗数は、1,013店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比11.5%増の1,204億33百万円、営業利益は前年同期比1.7%増の238億73百万円、経常利益は前年同期比2.1%増の242億95百万円、四半期純利益は前年同期比3.7%増の146億64百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 国内

商品につきましては、メンズ、レディースともに、高単価のランニングシューズやスニーカーといったスポーツシューズが好調となりました。またキッズシューズにつきましても、アイテム数を増やしたことにより好調となりました。

店舗展開におきましては、上半期で35店舗の出店を行いました。この結果、当四半期末における国内店舗数は815店舗となりました。(閉店4店舗)既存店におきましても、増床を含めた改装を29店舗(うち増床15店舗)実施しました。また、当連結会計年度につきましては、百貨店やファッションビル向けの業態開発に注力しており、新業態店舗として「ACE SHOES(エース・シューズ)」、ポップアップストア「SNEAKER SELECT」を出店いたしました。昨年レディース新業態として展開を始めた「Charlotte」と合わせ、流行に敏感な若者をターゲットに、新たな顧客の獲得を目指しております。

上半期における国内店舗の売上高増収率(インターネット販売を含む。)につきましては、全店で前年同期比7.3%増、既存店で前年同期比4.1%増となりました。当四半期についても、全店で前年同期比7.2%増、既存店で前年同期比4.1%増となりました。当四半期の客単価は、セールの縮小やスニーカートレンドによる平均単価の上昇により全店既存店ともに前年同期比で12%以上の上昇となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比7.2%増の898億28百万円、営業利益は前年同期比2.1%増の216億20百万円となりました。

② 海外

海外の店舗展開につきましては、上半期で韓国で8店舗、台湾で2店舗の新規出店を行いました。当四半期末時点(平成27年6月30日時点)の海外店舗数は、韓国165店舗、台湾29店舗、米国4店舗、計198店舗となりました。(閉店 韓国2、台湾1)なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

海外の業績につきましては、韓国の売上高は前年同期比18.6%増の214億27百万円、台湾は前年同期比41.2%増の17億33百万円、米国は前年同期比およそ1.5倍増の78億96百万円となりました。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比26.2%増の310億57百万円、営業利益は前年同期比2.1%減の22億51百万円となりました。

品目別販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
スポーツ	56,049	66,055	17.9
レザーカジュアル	17,245	18,693	8.4
レディース	11,614	10,798	△7.0
キッズ	6,071	7,048	16.1
ビジネス	5,872	5,757	△2.0
サンダル	5,018	5,082	1.3
その他	6,144	6,997	13.9
売上高合計	108,017	120,433	11.5

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ122億18百万円増加し、1,725億16百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の増加等に伴う現金及び預金の増加24億58百万円、及びたな卸資産の増加71億25百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ91億76百万円減少し、641億86百万円となりました。主な要因は、資産の効率化を目的とした有形固定資産の売却や減損損失の計上等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ326億59百万円減少し、454億66百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使による社債の減少253億20百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ357億円増加し、1,912億36百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使による資本の増加、利益剰余金の四半期純利益の計上による増加、及び配当金の支払による減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ24億84百万円増加し、982億91百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、48億36百万円の収入(前年同期比143億65百万円収入減)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益233億29百万円、減価償却費21億9百万円、有形固定資産の減損損失15億63百万円、たな卸資産の増加額70億39百万円、仕入債務の減少額27億99百万円、及び法人税等の支払による支出97億49百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、55億30百万円の収入(前年同期比104億32百万円収入増)となりました。この主な要因は、資産の効率化を目的とした有形固定資産の売却による収入97億37百万円、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出27億10百万円、敷金及び保証金の差入による支出8億85百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、78億19百万円の支出(前年同期比42億16百万円支出増)となりました。この主な要因は、借入金の純減少額32億93百万円及び配当金の支払による支出45億14百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期の連結売上高は、スニーカートレンドの継続やインバウンド消費により国内の既存店が好調であったことから、当初計画を57億円上回る結果となりました。

下半期につきましても、この傾向は若干の減速はありますが続くものと予想し、好調なカジュアルスニーカーを軸に、付加価値をつけた商品をご提供し、単価アップを目指してまいります。品質重視の高価格帯商品、生産コストを抑えた廉価帯商品、また従来よりもワンランク上の品質でお求めやすい価格帯の商品、といった価格帯別の商品戦略を引き続き実施し、地域に応じてきめ細かな提案をまいります。

国内の出店計画につきましては、当初60店舗の出店を計画しておりましたが、当連結会計年度においては計画を上回る出店が既に確定となったため、下半期出店35店舗、通期で70店舗の出店に計画を変更しております。改装につきましては、好立地への移転、増床を伴う改装や、業態変更を伴う改装も積極的に実施してまいります。海外の出店につきましては、韓国を中心に下半期に10店舗程度予定しております。

また、既存店の強化に注力し、価格帯の広がりに合わせて地域別の商品構成の見直しやインターネットを活用した実店舗での販売強化に努めてまいります。

以上の見通しに基づき、平成28年2月期の通期の連結業績は、売上高は前期比10.9%増の2,368億円、営業利益は前期比2.8%増の407億50百万円、経常利益は前期比2.6%増の414億50百万円、当期純利益は前期比4.1%増の253億80百万円を見込んでおります。

なお、平成27年4月8日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

① 連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	229,500	40,750	41,400	25,810	342.79
今回修正予想 (B)	236,800	40,750	41,450	25,380	322.48
増減額 (B - A)	7,300	-	50	△430	△20.31
増減率 (%)	3.2	-	0.1	△1.7	△5.9
前期実績	213,584	39,651	40,405	24,373	323.71

(ご参考)

② 個別通期予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	164,500	36,780	22,850	303.48
今回修正予想 (B)	171,700	37,060	22,150	281.44
増減額 (B - A)	7,200	280	△700	△22.04
増減率 (%)	4.4	0.8	△3.1	△7.3
前期実績	159,655	36,653	22,104	293.57
当第2四半期 累計期間実績	89,527	21,909	12,996	169.72

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(法人税等の税率の変更)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率及び事業税率等が変更されることになりました。これに伴い、平成28年3月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異にかかる繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は35.64%から33.06%に、平成29年3月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異にかかる繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は32.30%に変更となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,493	98,951
受取手形及び売掛金	7,873	8,014
たな卸資産	49,367	56,493
繰延税金資産	2,049	2,048
その他	4,555	7,052
貸倒引当金	△41	△44
流動資産合計	160,298	172,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,395	24,647
減価償却累計額	△12,512	△12,139
建物及び構築物(純額)	12,883	12,508
工具、器具及び備品	9,006	9,495
減価償却累計額	△5,834	△6,382
工具、器具及び備品(純額)	3,171	3,113
土地	19,629	10,557
建設仮勘定	327	520
その他	438	440
減価償却累計額	△334	△357
その他(純額)	103	82
有形固定資産合計	36,115	26,783
無形固定資産		
商標権	2,948	2,798
のれん	7,511	6,951
その他	2,083	1,994
無形固定資産合計	12,543	11,744
投資その他の資産		
投資有価証券	60	604
関係会社株式	102	102
長期貸付金	2,458	2,307
敷金及び保証金	20,892	21,431
その他	1,208	1,231
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	24,704	25,658
固定資産合計	73,363	64,186
資産合計	233,661	236,703

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,176	11,390
短期借入金	6,355	3,576
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	9,815	8,853
賞与引当金	702	803
引当金	291	252
資産除去債務	14	20
設備関係支払手形	722	1,294
その他	7,992	6,989
流動負債合計	41,070	34,181
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	33,000	7,680
長期借入金	500	—
引当金	113	120
退職給付に係る負債	870	981
資産除去債務	291	287
その他	2,280	2,215
固定負債合計	37,056	11,285
負債合計	78,126	45,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482	16,142
資本剰余金	7,488	20,148
利益剰余金	131,413	141,559
自己株式	△0	△2
株主資本合計	142,384	177,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	13
為替換算調整勘定	12,683	12,854
その他の包括利益累計額合計	12,697	12,867
少数株主持分	453	519
純資産合計	155,535	191,236
負債純資産合計	233,661	236,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	108,017	120,433
売上原価	47,407	54,341
売上総利益	60,609	66,091
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,138	1,295
広告宣伝費	3,244	3,171
保管費	1,137	1,273
役員報酬及び給料手当	9,932	11,650
賞与	315	390
賞与引当金繰入額	998	803
退職給付費用	141	181
法定福利及び厚生費	1,379	1,589
地代家賃	9,891	11,515
減価償却費	1,910	2,109
水道光熱費	1,099	1,113
支払手数料	2,007	2,358
租税公課	417	597
のれん償却額	548	663
その他	2,981	3,504
販売費及び一般管理費合計	37,143	42,218
営業利益	23,466	23,873
営業外収益		
受取利息	84	78
為替差益	47	—
賃貸収入	364	386
広告媒体収入	30	39
その他	119	109
営業外収益合計	646	613
営業外費用		
支払利息	22	26
為替差損	—	36
賃貸費用	175	109
その他	108	18
営業外費用合計	307	191
経常利益	23,806	24,295

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4	1,361
特別利益合計	4	1,361
特別損失		
固定資産売却損	—	690
固定資産除却損	83	73
減損損失	106	1,563
特別損失合計	190	2,327
税金等調整前四半期純利益	23,620	23,329
法人税、住民税及び事業税	9,559	8,732
法人税等調整額	△104	△116
法人税等合計	9,454	8,616
少数株主損益調整前四半期純利益	14,165	14,713
少数株主利益	26	49
四半期純利益	14,138	14,664

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,165	14,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△1
為替換算調整勘定	△490	187
その他の包括利益合計	△503	186
四半期包括利益	13,661	14,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,648	14,833
少数株主に係る四半期包括利益	13	66

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,620	23,329
減価償却費	1,910	2,109
賞与引当金の増減額(△は減少)	349	100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△85	△79
支払利息	22	26
為替差損益(△は益)	△35	31
固定資産除売却損益(△は益)	78	△598
減損損失	106	1,563
売上債権の増減額(△は増加)	△2,323	△58
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,065	△7,039
仕入債務の増減額(△は減少)	2,683	△2,799
その他	1,742	△2,050
小計	26,006	14,537
利息及び配当金の受取額	68	75
利息の支払額	△22	△26
法人税等の支払額	△6,849	△9,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,202	4,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△553
定期預金の払戻による収入	—	548
有形固定資産の取得による支出	△3,833	△2,710
有形固定資産の売却による収入	5	9,737
無形固定資産の取得による支出	△133	△206
店舗撤去に伴う支出	△45	△69
投資有価証券の取得による支出	—	△548
子会社株式の取得による支出	△8	—
貸付けによる支出	△55	△110
貸付金の回収による収入	55	141
敷金及び保証金の差入による支出	△1,169	△885
敷金及び保証金の回収による収入	271	203
その他の支出	△61	△62
その他の収入	73	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,901	5,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△835	△2,793
長期借入金の返済による支出	△501	△500
配当金の支払額	△2,255	△4,514
その他の支出	△10	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,603	△7,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,728	2,484
現金及び現金同等物の期首残高	78,755	95,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,483	98,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、2018年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の一部について権利行使が行われました。

当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりであります。

転換社債型新株予約権付社債の減少額	25,320百万円
資本金の増加額	12,660百万円
資本準備金の増加額	12,660百万円
増加した株式の種類及び株数	普通株式 5,556,881株
発行済株式総数(自己株式含む。)	80,851,310株

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,477	24,539	108,017	—	108,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321	60	382	△382	—
計	83,799	24,600	108,400	△382	108,017
セグメント利益	21,175	2,300	23,475	△8	23,466

(注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,459	30,974	120,433	—	120,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	368	83	452	△452	—
計	89,828	31,057	120,885	△452	120,433
セグメント利益	21,620	2,251	23,872	1	23,873

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、国内セグメントにおいて1,563百万円の減損損失を計上しました。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

2016年2月期 第2四半期 決算データ資料
(期間: 2015年3月1日~2015年8月31日)

1. 連結経営成績

(単位: 百万円,%)

	2012年8月Q2期			2013年8月Q2期			2014年8月Q2期			2015年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	77,057	100.0	10.5	93,814	100.0	21.7	108,017	100.0	15.1	120,433	100.0	11.5
売上総利益	45,150	58.6	11.5	52,827	56.3	17.0	60,609	56.1	14.7	66,091	54.9	9.0
販管費合計	28,392	36.8	6.9	33,827	36.1	19.1	37,143	34.4	9.8	42,218	35.1	13.7
広告宣伝費	3,176	4.1	▲6.0	3,178	3.4	0.1	3,126	2.9	▲1.6	3,028	2.5	▲3.1
人件費	9,683	12.6	4.9	11,498	12.3	18.7	12,971	12.0	12.8	14,973	12.4	15.4
地代家賃	7,564	9.8	13.6	8,690	9.3	14.9	9,781	9.1	12.6	11,354	9.4	16.1
減価償却費	1,394	1.8	12.8	1,884	2.0	35.2	1,914	1.8	1.6	2,098	1.7	9.6
その他	6,573	8.5	8.6	8,576	9.1	30.5	9,349	8.7	9.0	10,764	8.9	15.1
営業利益	16,758	21.7	20.2	18,999	20.3	13.4	23,466	21.7	23.5	23,873	19.8	1.7
経常利益	17,380	22.6	31.5	19,126	20.4	10.0	23,806	22.0	24.5	24,295	20.2	2.1
税引後当期純利益	9,891	12.8	41.7	10,623	11.3	7.4	14,138	13.1	33.1	14,664	12.2	3.7
1株当り当期純利益(円)	131.37	-	-	141.09	-	-	187.78	-	-	191.50	-	-
期中平均株式数(千株)	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-	76,575	-	-

2. 単体経営成績

(単位: 百万円,%)

	2012年8月Q2期			2013年8月Q2期			2014年8月Q2期			2015年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	66,765	100.0	11.1	73,846	100.0	10.6	83,544	100.0	13.1	89,527	100.0	7.2
売上総利益	40,136	60.1	13.2	43,812	59.3	9.2	49,155	58.8	12.2	52,176	58.3	6.1
販管費合計	24,580	36.8	6.9	26,321	35.6	7.1	28,216	33.8	7.2	30,788	34.4	9.1
広告宣伝費	2,864	4.3	▲0.1	2,586	3.5	▲9.7	2,492	3.0	▲3.6	2,297	2.6	▲7.8
人件費	8,591	12.9	5.5	9,019	12.2	5.0	9,893	11.8	9.7	10,990	12.3	11.1
地代家賃	6,783	10.2	11.3	7,554	10.2	11.4	8,326	10.0	10.2	9,177	10.3	10.2
減価償却費	1,078	1.6	9.6	1,146	1.6	6.3	1,094	1.3	▲4.5	1,134	1.3	3.7
その他	5,262	7.9	7.2	6,014	8.1	14.3	6,409	7.7	6.6	7,188	8.0	12.2
営業利益	15,556	23.3	25.0	17,491	23.7	12.4	20,939	25.1	19.7	21,388	23.9	2.1
経常利益	16,316	24.4	38.0	17,790	24.1	9.0	21,435	25.7	20.5	21,909	24.5	2.2
税引後当期純利益	9,160	13.7	51.3	9,780	13.2	6.8	12,569	15.0	28.5	12,996	14.5	3.4
1株当り当期純利益(円)	121.66	-	-	129.90	-	-	166.94	-	-	169.72	-	-
期中平均株式数(千株)	75,294	-	-	75,294	-	-	75,294	-	-	76,575	-	-

3. ABC-MART KOREA 経営成績(期間: 2015年1月1日~2015年6月30日)

(単位: 百万円,%)

	2012年6月Q2期			2013年6月Q2期			2014年6月Q2期			2015年6月Q2期		
	為替レート 6.96 (円/100WON)			為替レート 8.58 (円/100WON)			為替レート 9.83 (円/100WON)			為替レート 10.97 (円/100WON)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	9,428	100.0	7.0	13,506	100.0	43.3	18,065	100.0	33.8	21,427	100.0	18.6
売上総利益	4,724	50.1	0.8	6,862	50.8	45.3	9,293	51.4	35.4	10,711	50.0	15.3
販管費合計	3,671	38.9	7.8	5,276	39.1	43.7	6,394	35.4	21.2	8,033	37.5	25.6
営業利益	1,053	11.2	▲17.8	1,586	11.7	50.6	2,899	16.0	82.8	2,677	12.5	▲7.7

*1 ABC-MART KOREAは12月決算であります。

4. 国内出店・閉店の状況

	前期末	2015年8月Q2期		
		出店	閉店	Q2期末
路面店	86	5	1	90
商業ビル	102	12	0	114
S C	368	10	2	376
N S C	78	4	1	81
ロードサイド	96	0	0	96
アウトレット	54	4	0	58
計	784	35	4	815

5. 海外出店・閉店の状況

	前期末	2015年6月Q2期		
		出店	閉店	Q2期末
韓国	159	8	2	165
台湾	28	2	1	29
米国	4	0	0	4
計	191	10	3	198

*1 海外子会社は12月決算であります。